

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

セットアップガイド（本書）

この取扱説明書は、次の内容を記載してあります。

内容物の確認

CS-6000N、プリンタ、スキャナのセットアップの仕方

セットアップを代理店に依頼される場合は、本書をお読みになる必要はありません。

ユーザーズガイド

CS-6000Nの取扱説明書です。CS-6000N、プリンタ、スキャナを使用してコピーする手順や、困ったときの対処について説明しています。

原稿の向きとコピーの向き（早見表）

スキャナへの原稿のセット方向と、プリンタへの用紙のセット方向を説明しています。コピーシステムの近くに置いてご活用ください。

ネットワーク操作ガイド

ネットワーク上のパソコンから、スキャナを使用する手順について説明している取扱説明書です。

ネットワーク構築ガイド

ネットワークの構築に関する、ネットワーク管理者用の取扱説明書です。

本文中のマークについて

マークが付いている文章は次のように重要な内容を記載しています。必ずお読みください。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、装置本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。



ポイント

お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）を記載しています。

用語^(*1) 分かりにくい用語の説明を、欄外に記載している事を示しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

もくじ

内容物の確認	巻頭
取扱説明書の種類と使い方	i
本文中のマークについて	ii

設置する前に

開梱からコピーまでの手順	2
設置に必要なスペース	4
専用キャビネットを使用する場合	4
専用キャビネットを使用しない場合	6
設置上のご注意	10

スキャナの設置

輸送用固定ノブの取り扱い	12
スキャナを使用するとき	12
スキャナを移動するとき	12
電源の接続と動作の確認	13
ADFを使用する方へ	15
スキャナビボタンについて (ES-6000/ES-6000H) ..	16

プリンタの設置

トレイの取り付け	18
延長トレイの取り付け	18
フェイスアップトレイの取り付け	19
ETカートリッジの取り付け	20
取り付け	20
定着オイルロールの取り付け	24
取り付け	25
増設メモリの取り付け	27
取り付け	27
電源の接続	31
接続	32

CS-6000Nの設置

操作パネルの接続	36
電源の接続	37
スキャナとの接続	38
使用できるケーブル	38
接続の仕方	39
プリンタとの接続	41
使用できるケーブル	41
接続の仕方	41
ネットワークケーブルの接続	43
ケーブルの接続	43

設置する前に

ここでは、コピーシステムを設置するために必要なスペースや、設置上のご注意などについて説明しています。

開梱からコピーまでの手順	P.2
設置に必要なスペース	P.4
設置上のご注意	P.10

開梱からコピーまでの手順

内容物の確認後、コピーを行うまでのおおまかな手順を紹介します。

1

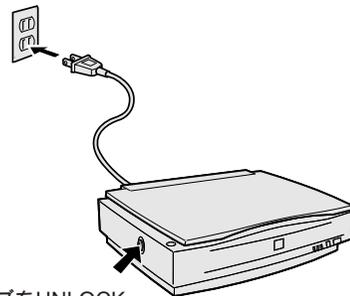
事故やけがを防ぐために、「安全にお使いいただくために」を確認



📖 ユーザーズガイド 巻頭

2

スキャナを設置
(図はES-6000Hです。)

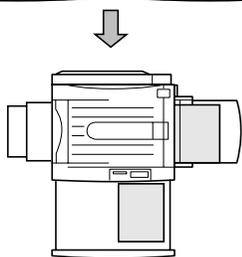
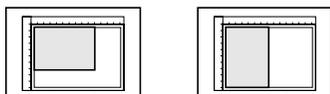


ノブをUNLOCK
の位置へ回す

📖 本書 11 ページ

5

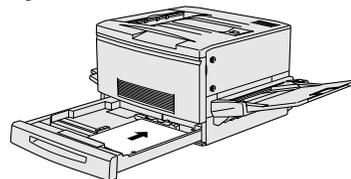
原稿と用紙をセットする前に、
セットする向きを確認



📖 ユーザーズガイド (P.5)

6

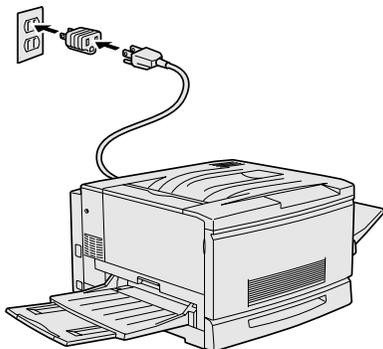
スキャナに原稿をセットし、プリ
ンタに用紙をセット



📖 ユーザーズガイド (P.11,16)

3

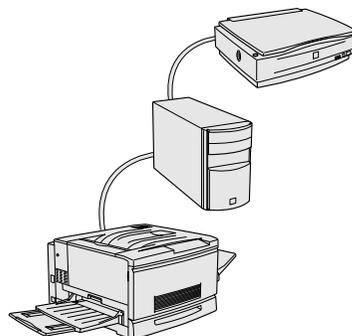
プリンタ (LP-8200C) を設置



📖 本書 17 ページ

4

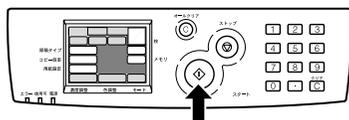
CS-6000Nを設置して、スキャナ、プリンタを接続



📖 本書 35 ページ

7

コピーを実行！



📖 ユーザーズガイド (P.29)

CS-6000Nでは、カラーコピーの他に、ネットワーク上のパソコンからスキャナを使用することができます。そのためには、ネットワークの構築やパソコンのセットアップが必要です。詳しくは、ネットワーク構築ガイドを参照してください。

設置に必要なスペース

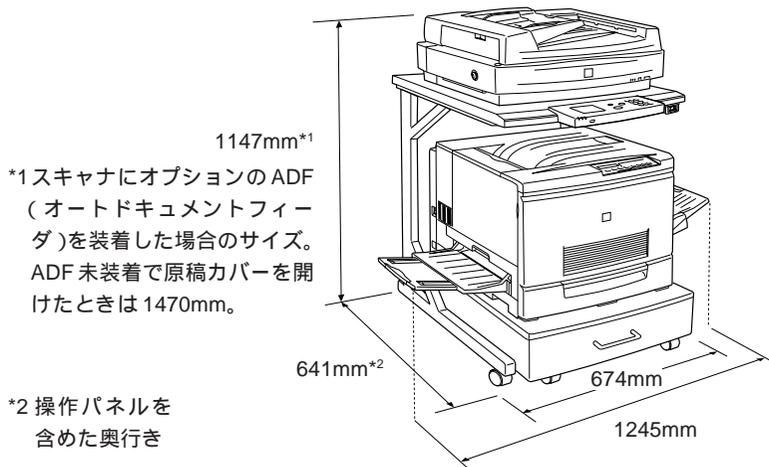
ここでは、オプションの専用キャビネットを使用する場合と使用しない場合に分けて、各機器を設置するために必要なスペースを示します。

専用キャビネットを使用する場合

専用キャビネットを使用すると、スペース効率の良い置き方ができます。CS-6000Nの背面とスキャナの背面には10cm以上のすき間を、プリンタの背面には15cm以上のすき間を開けてください。

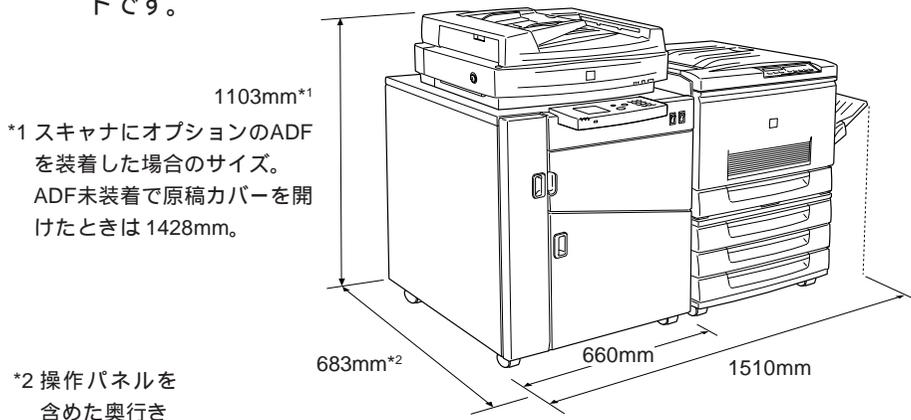
型番：CSCBN3

LP-8200C(オプションの増設カセットユニット未装着)をカラーコピーシステムとしてお使いの場合に使用する専用キャビネットです。



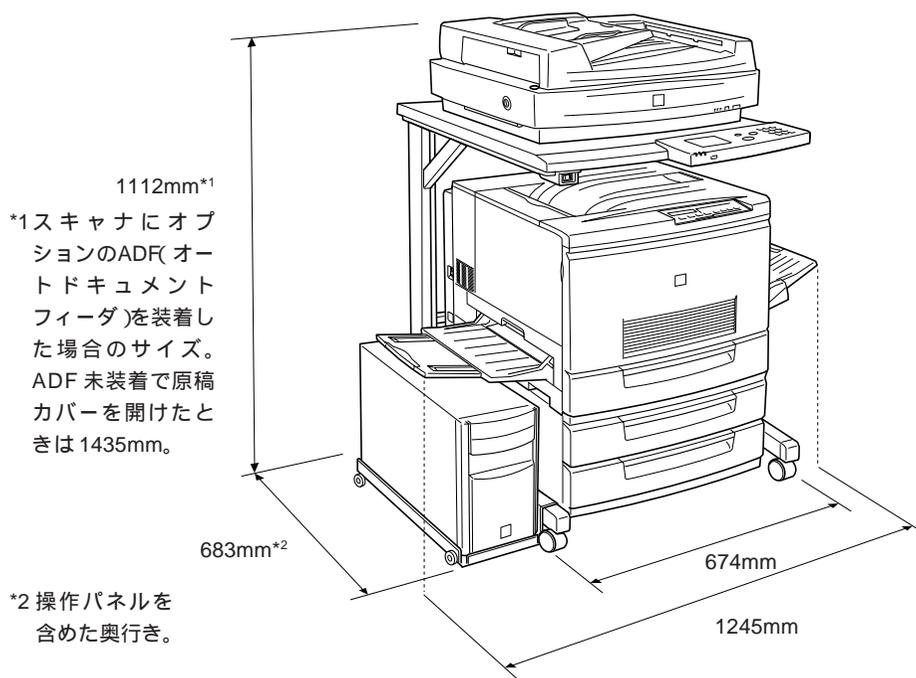
型番：CSCBN4

オプションの増設カセットユニット(3段:型番LPCWC1)を装着したLP-8200Cをカラーコピーシステムとしてお使いの場合に使用する専用キャビネットです。



型番 : CSCBN5

オプションの増設カセットユニット (2 段 : 型番 LPCWC2) を装着した LP-8200C をカラーコピーシステムとしてお使いの場合に使用する専用キャビネットです。

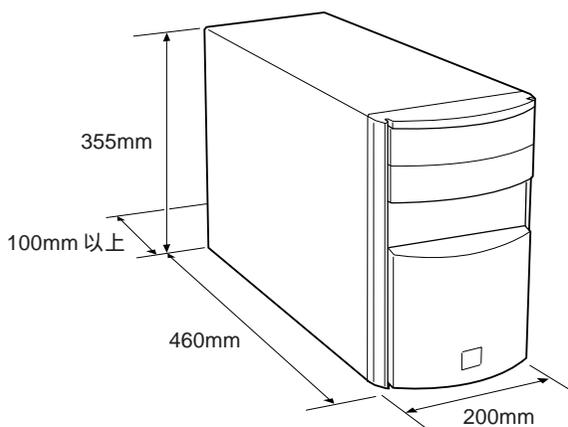


設置に必要なスペース

専用キャビネットを使用しない場合

専用キャビネットを使用しない場合、CS-6000N、プリンタ、スキャナを並べて設置することになります。各機器の設置に必要なスペースは次の通りです。

CS-6000N



背面には電源コードやインターフェイスケーブルのために、10cm以上のすき間が必要です。壁に押しつけて置くと、ケーブルの根元に無理な力がかかって断線したり、ケーブルが外れる原因になりますのでご注意ください。

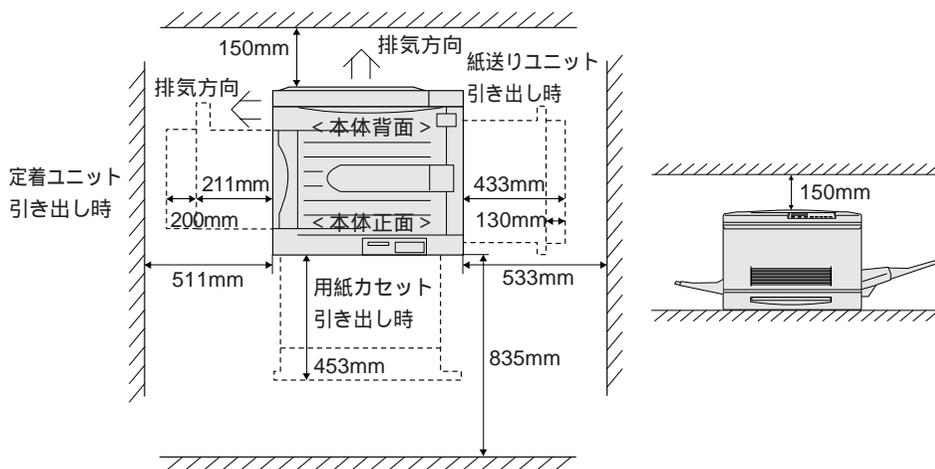
プリンタ (LP-8200C)



⚠ 注意

本機の重量（消耗品を含め約69kg）に十分耐えられる、水平で安定した頑丈な場所に設置してください。不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた場所など）に設置すると、落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

プリンタの周囲には、作業がしやすいように十分なスペースを確保してください。背面と上面には通風口があるため、15cm以上のすき間が必要です。

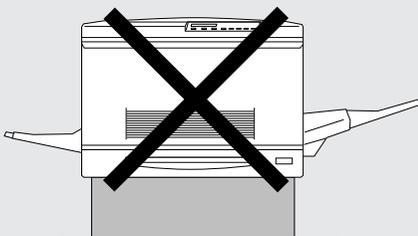


設置に必要なスペース



注意

- 本機を「プリンタ底面より小さい台」の上には設置しないでください。プリンタ底面の脚が台からはみ出していると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ずプリンタ本体より広く平らな面の上に、プリンタ底面の脚が確実に載るように設置してください。



- 本機の上に、スキャナやCS-6000Nを重ねないでください。故障の原因になります。

スキャナ (ES-6000/ES-6000H)

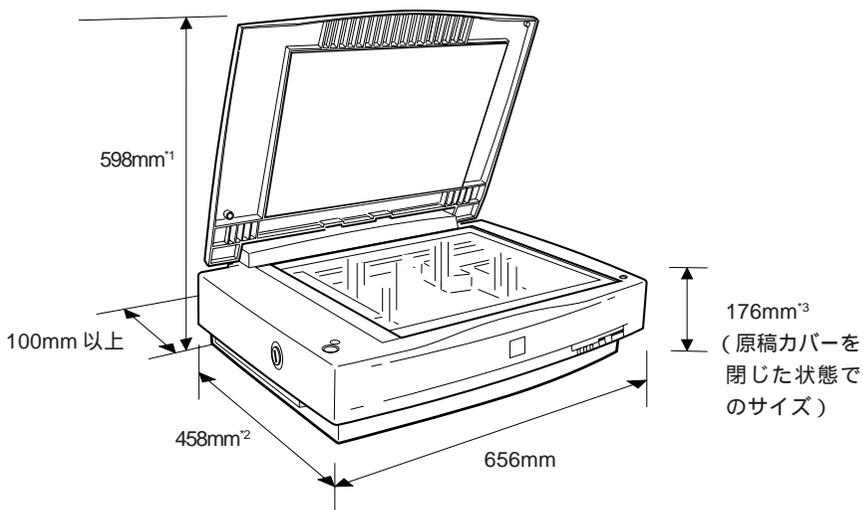


⚠ 注意

本機は A3 対応の大型スキャナですので、必ず、水平で安定した頑丈な場所に設置してください。不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた場所など）に設置すると、落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

スキャナの周囲と上側には、操作しやすいように十分なスペースを確保してください。

背面には電源コードやインターフェイスケーブルのために、10cm 以上のすき間が必要です。壁に押しつけて置くと、ケーブルの根元に無理な力がかかって断線したり、ケーブルが外れる原因になりますのでご注意ください。



*1 オプションの ADF (オートドキュメントフィーダ) を装着した場合は 685mm

*2 オプションの ADF を装着した場合は 600mm

*3 オプションの ADF を装着した場合は 293mm

スキャナ (ES-8000)

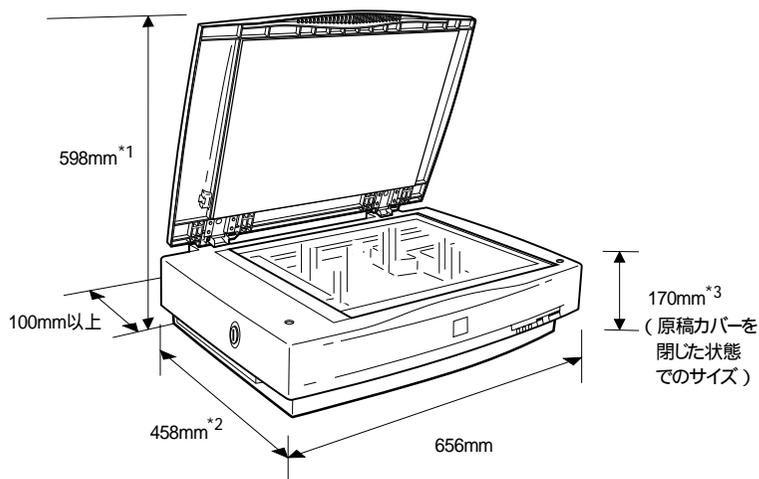


注意

本機は A3 対応の大型スキャナですので、必ず、水平で安定した頑丈な場所に設置してください。不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた場所など）に設置すると、落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

スキャナの周囲と上側には、操作しやすいように十分なスペースを確保してください。

背面には電源コードやインターフェイスケーブルのために、10cm 以上のすき間が必要です。壁に押しつけて置くと、ケーブルの根元に無理な力がかかって断線したり、ケーブルが外れる原因になりますのでご注意ください。



*1 オプションの ADF (オートドキュメントフィーダ) を装着した場合は 685mm

*2 オプションの ADF を装着した場合は 600mm

*3 オプションの ADF を装着した場合は 293mm

設置上のご注意



注意

次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所
 水平		 ☀ 10 ~ 32 💧 20 ~ 80%



注意

各機器は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

 直射日光の当たる場所	 ほこりや塵の多い場所	 温度変化の激しい場所
 湿度変化の激しい場所	 火気のある場所	 水にぬれやすい場所
 揮発性物質のある場所	 冷暖房機具に近い場所	 震動のある場所



注意

- テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。各機器は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。
- 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。



スキヤナの設置

ここでは、スキヤナの設置について説明しています。

輸送用固定ノブの取り扱い	P.12
電源の接続と動作の確認	P.13
ADF を使用する方へ	P.15
スキヤナビボタンについて (ES-6000/ES-6000H) ...	P.16

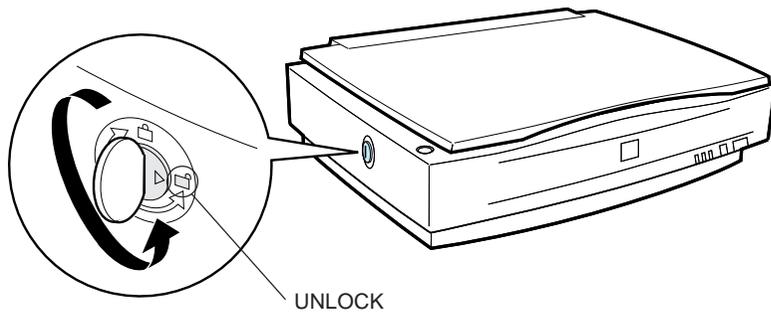
輸送用固定ノブの取り扱い

輸送用固定ノブは、スキャナ内部にあるキャリッジが外部からの衝撃により移動しないよう、固定・保護するためのものです。スキャナを移動するとき以外は、UNLOCKの状態でお使いください。

輸送用固定ノブの取扱いは、ES-6000/ES-6000H ES-8000とも同一です。
以下の説明の中では、ES-6000を例にしています。

スキャナを使用するとき

スキャナの使用時は、10円硬貨などを使って、ノブをUNLOCKの位置に回してください。



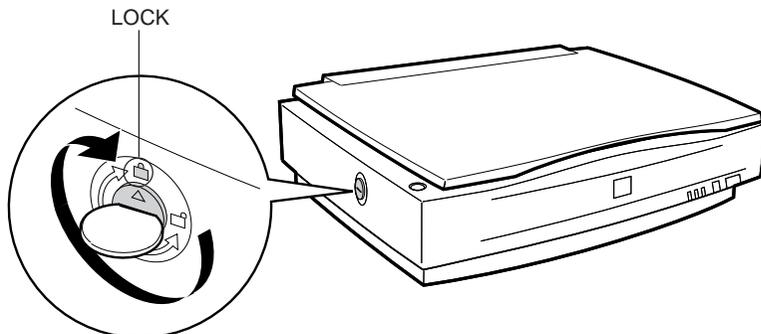
スキャナを移動するとき

スキャナの移動時は、10円硬貨などを使って、ノブをLOCKの位置に回してください。

キャリッジが固定されるため、移動中にキャリッジが動く心配がありません。

詳しくは、スキャナの取扱説明書の次の箇所を参照してください。

- ES-6000/ES-6000H : ユーザーズガイド「移動時のご注意」
- ES-8000 : 取扱説明書「移動時のご注意」



電源の接続と動作の確認

CS-6000N と接続する前に、電源を接続して正常に動作するか確認します。



⚠ 注意

- ユーザーズガイドの巻頭に記載されている「安全にお使いいただくために」を参照の上、正しくお取り扱いください。
- 長い間スキャナを使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

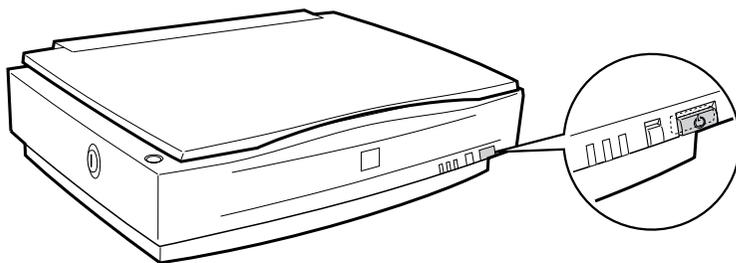
スキャナのスイッチの形状や、背面のコネクタ類の配置はスキャナにより異なる場合がありますが、電源接続と動作確認の手順は ES-6000/ES-6000H/ES-8000 とも同一です。

以下の説明では、ES-6000 を例にしています。

1

OPERATEスイッチがオフであることを確認します。

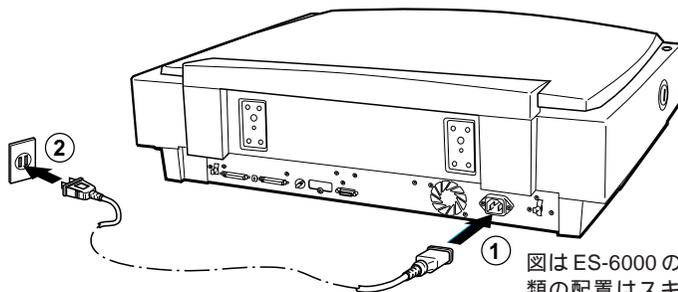
OPERATEスイッチが奥に押されている状態だと、オンになっています。もし、オンになっていたらオフにしてください。



2

コンセントの電圧が AC100Vであることを確認し、電源コードを接続します。

電源コードのコネクタ側をスキャナの AC インレットに差し込みます。プラグをコンセントに差し込みます。



① 図は ES-6000 の背面です。背面のコネクタ類の配置はスキャナにより異なりますが、ES-6000/ES-6000H、ES-8000 とも AC インレットは背面の右下に設けられています。



ポイント

オプションの専用キャビネットをお使いの場合は、専用キャビネットに備え付けられているコンセントに接続してください。詳しくは、専用キャビネットに付属の取扱説明書を参照してください。

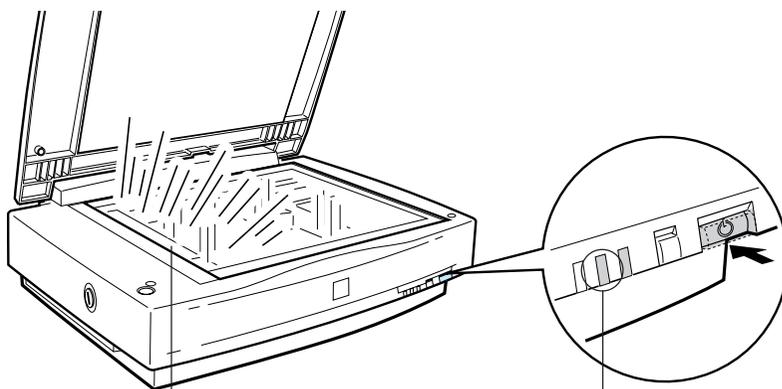
3

OPERATEスイッチを押して電源をオンにします。

次の2点を確認してください。確認できれば正常です。

電源をオンにしたあと、キャリッジが少し動いて、蛍光ランプ（白色）が試験点灯するか。

そのあとでREADYランプが点灯するか。



キャリッジ動作、蛍光ランプ点灯

READYランプ点灯

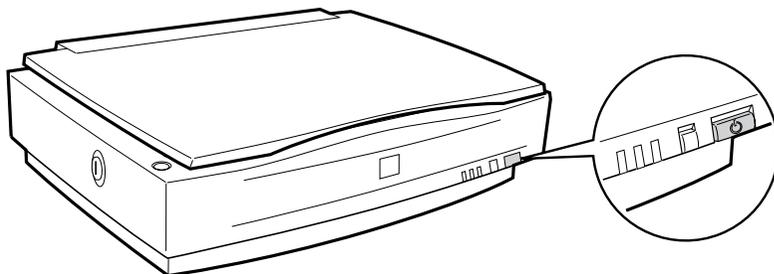


ポイント

- 電源をオンにしたときにERRORランプとReadyランプが点滅したら -
これは、輸送用固定ノブがLOCK状態のため、キャリッジが動作できないことを示しています。電源をオフにしてから12ページを参照してノブをUNLOCKの位置に回し、改めて上記の操作を行ってください。

4

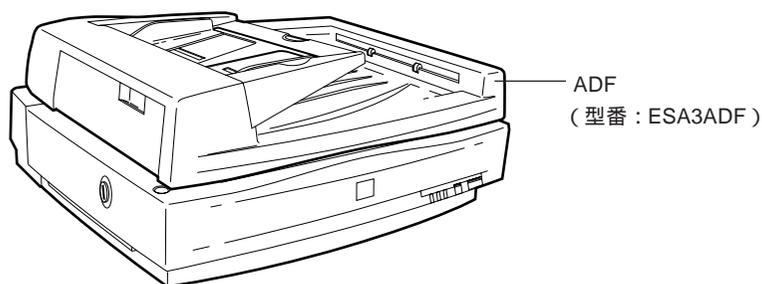
以上で動作確認は終了です。後でCS-6000Nと接続するので、スキヤナの電源をオフにしておきます。



ADF を使用する方へ

スキャナに、オプションのADF（オートドキュメントフィーダ）を取り付けて使用する場合、ADFの取り付け方法については、スキャナの取扱説明書の次の箇所を参照してください。

- ES-6000/ES-6000H : ユーザーズガイド「オプションの紹介」
- ES-8000 : 取扱説明書「オプションの紹介」



ADFは、原稿を連続して取り込むことができる装置です。
主な仕様は次の通りです。

セット可能サイズ

定形紙 : A5、B5、LETTER、A4、LEGAL、B4、A3

不定形紙 : 幅 140 ~ 297mm

長さ 148 ~ 420mm (ハガキは使用できません。)

セット可能枚数

A4、LETTER 以下 : 50 枚 (80g/m²)

B4、LEGAL 以上 : 30 枚 (80g/m²)

紙質

上質紙、再生紙、ボンド紙

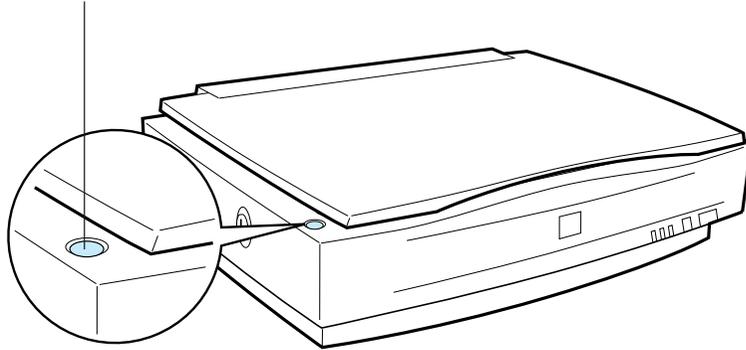
紙厚

50 ~ 127g/m²

スキャナビボタンについて (ES-6000/ES-6000H)

ES-6000/ES-6000H には、上面にスキャナビボタンが設けられています。スキャナをコピーシステムで使用する場合、スキャナビボタンは機能しません。スキャナビボタンを誤って操作しないよう、CS-6000N に同梱のシールをスキャナビボタンの上に貼ってください。

スキャナビボタンを誤って操作しないよう、CS-6000N に同梱のシールを貼ってください。



プリンタの設置

ここでは、プリンタの設置について説明しています。

トレイの取り付け	P.18
ET カートリッジの取り付け	P.20
定着オイルロールの取り付け	P.24
増設メモリの取り付け	P.27
電源の接続	P.31

トレイの取り付け

延長トレイとフェイスアップトレイをプリンタに取り付けます。



注意

トレイを取り付ける前に、すべての保護材が取り外されていることを確認してください。

📖 LP-8200C セットアップガイド「保護材の取り外し」

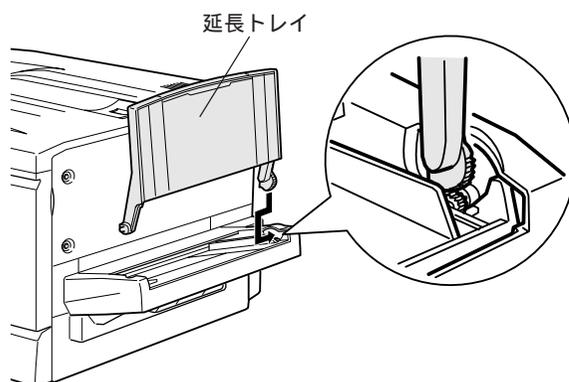
延長トレイの取り付け

延長トレイをプリンタ右側の用紙トレイに取り付けます。

1

延長トレイを垂直に立てて、延長トレイの右側先端の突起を、プリンタの用紙トレイ右側のくぼみに差し込みます。

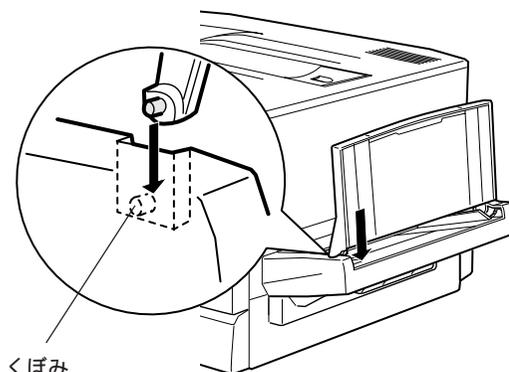
延長トレイと用紙トレイの歯車がかみ合うよう、慎重に差し込んでください。



2

延長トレイを垂直に立てて、延長トレイの左側先端を用紙トレイ左側の切り欠きに差し込みます。

カチッという音がして、延長トレイの左側先端の突起が用紙トレイ側のくぼみと
かみ合うように差し込みます。



フェイスアップトレイの取り付け

フェイスアップトレイをプリンタ左側の排紙口に取り付けます。

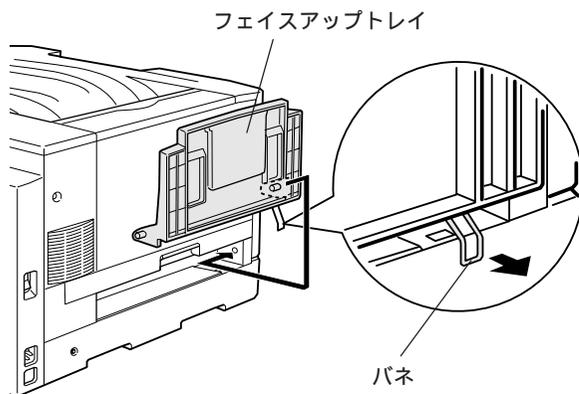
1

フェイスアップトレイ右側のバネをプリンタの排紙口の下部に押しつけるようにして、排紙トレイの右側の突起をプリンタの排紙口の右側の穴に差し込みます。



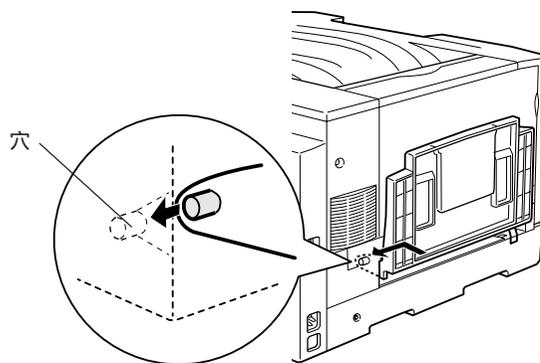
ポイント

取り付けの際、フェイスアップトレイ右側のバネをプリンタの排紙口の中に入れてそのまま取り付けないように注意してください。



2

フェイスアップトレイの左側の突起をプリンタの排紙口の左側の穴に差し込みます。



ET カートリッジの取り付け



注意

ETカートリッジを取り付ける前に、すべての保護材が取り外されていることを確認し、以下の取り扱い上の注意をご確認ください。

☞LP-8200C セットアップガイド「保護材の取り外し」

取り付け時のご注意

ETカートリッジ装着部の色を確認して、同じ色のETカートリッジを装着してください。

寒い場所から暖かい場所に移動した場合は、ETカートリッジを室温に慣らすために1時間以上待ってから作業を行ってください。

トナーは人体に無害ですが、体や衣服に付着したときはすぐに洗い流してください。

保管上のご注意

ETカートリッジは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。

以下の環境で保管してください。

温度範囲：0～35

湿度範囲：15～80%

高温多湿になる場所には置かないでください。

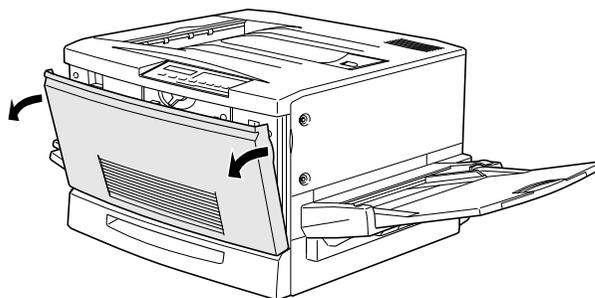
CRTディスプレイの画面、ドライブ装置、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。

幼児の手の届かない場所に保管してください。

取り付け

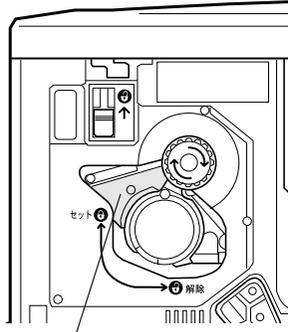
1

プリンタの前カバーを開けます。



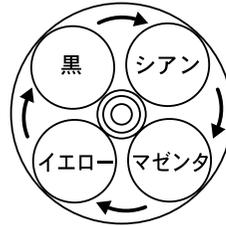
2

ETカートリッジの装着口には、セットするETカートリッジの色が示してあります。右図の位置に表示されている色を確認して、同じ色のETカートリッジを用意します。



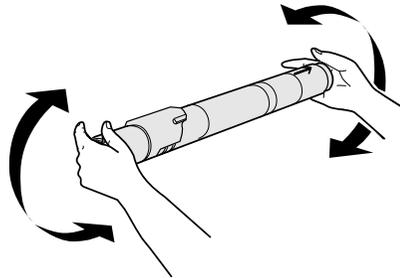
この色とカートリッジの色を合わせます。

ETカートリッジの装着口は次のように回転します。



3

ETカートリッジを梱包から取り出し、図のように左右に傾けて7～8回振り、中のトナーを均一にします。

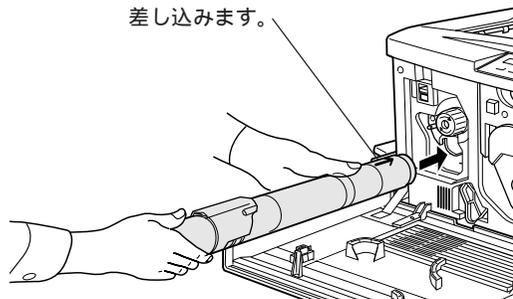


4

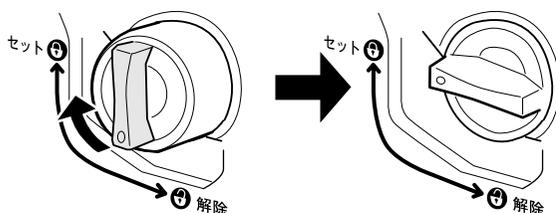
ETカートリッジ先端の矢印を上に向け、次の手順で装着します。

ETカートリッジ先端の矢印を上に向け、装着口にまっすぐ差し込みます。ETカートリッジが装着口の奥に当たり、これ以上押し込めなくなったらに進みます。

この矢印を上にして差し込みます。



差し込んだETカートリッジ後端のつまみを持ち、つまみの がセットの位置にくるまで矢印の方向に約90°回します。つまみを回すと同時にETカートリッジが装着口に押し込まれます。つまみが水平になり、これ以上回らなくなったらETカートリッジの装着は完了です。



注意

ETカートリッジのつまみはセットの位置に止まるまでしっかりと回してください。装着が不完全の場合は、トナー供給不足やトナー漏れの原因となります。

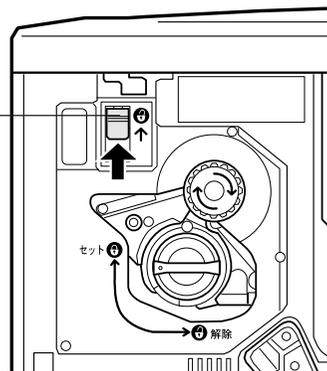
5

次のETカートリッジを装着します。

スイッチを上押しします。

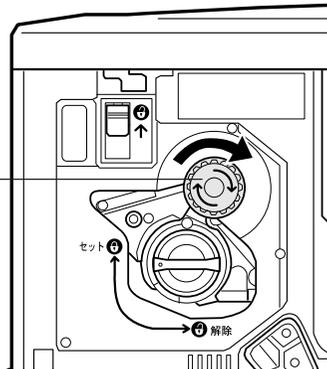
スイッチを上押ししたら、スイッチから指を離してください。

スイッチ



ノブを図の矢印の方向に回します。「カチッ」と音がしてスイッチが下がり、ノブがそれ以上回らなくなると、次のETカートリッジ装着口が正面にきます。

ノブ



ポイント

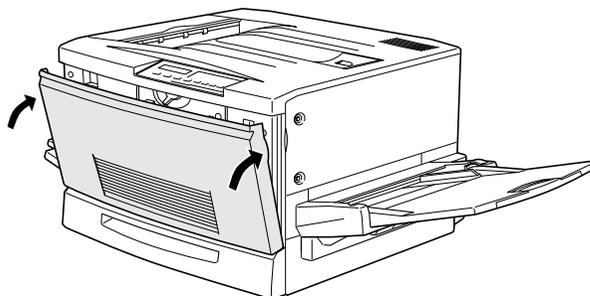
スイッチを上押ししていないと、ノブを回すことはできません。ノブが回らないときは無理に回さずに、スイッチを上上げてから回してください。

6

②から⑤の手順に従って4個のETカートリッジをすべて取り付けます。
4個めのETカートリッジを装着したら⑤の作業は不要です。

7

プリンタの前カバーを閉じます。



定着オイルロールの取り付け



注意

定着オイルロールを取り付ける前に、すべての保護材が取り外されていることを確認し、以下の取り扱い上の注意をご一読ください。

📖 LP-8200C セットアップガイド「保護材の取り外し」

取り付け時のご注意

定着オイルロールの白いロール部分には直接触れないようにしてください。白いロール部分にはオイルが塗布されています。オイルは人体に無害ですが、体や衣服に付着したときはすぐに洗い流してください。

定着オイルロールの白いロール部分に触れたり、傷を付けたりしないでください。オイル漏れの原因となります。また、印字品質低下の原因ともなります。定着オイルロールを置く場合は、立てかけたり斜めにしたりせず、平らな場所に置いてください。



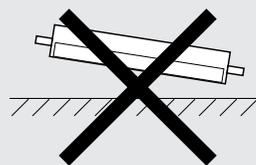
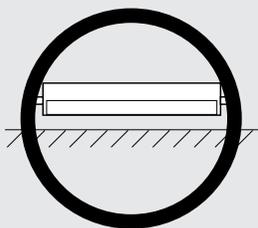
警告

定着オイルロールは、絶対に火の中に投げたり、火に近づけたりしないでください。引火により火災の原因となることがあります。



注意

定着オイルロールは常に水平の状態でご覧ください。立てかけたり斜めにすると、オイルが漏れて印字品質などに影響がでます。



保管上の注意

定着オイルロールは、必ず専用の梱包袋に入れ、水平に置いた状態で保管してください。

直射日光を避け、以下の環境で保管してください。

温度範囲：0 ~ 35

湿度範囲：15 ~ 80%

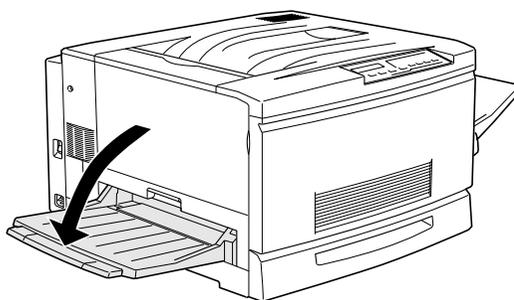
高温多湿になる場所には置かないでください。

幼児の手の届かない場所に保管してください。

取り付け

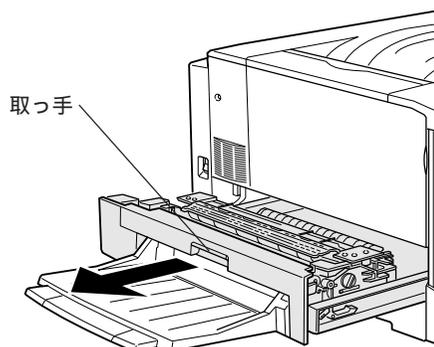
1

プリンタ左側のフェイスアップトレイを開きます。



2

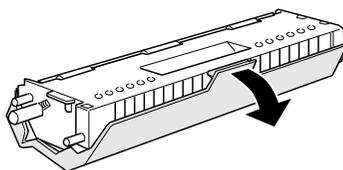
定着ユニットの取っ手を持ち、図の方向に止まるまで引き出します。



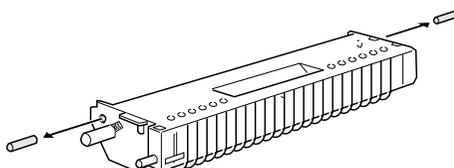
3

同梱の定着オイルロールを箱から取り出し、保護材を取り外します。

定着オイルロールのカバーを図の方向に取り外します。



定着オイルロール両側面のピン（2個）を図の方向に抜き取ります。



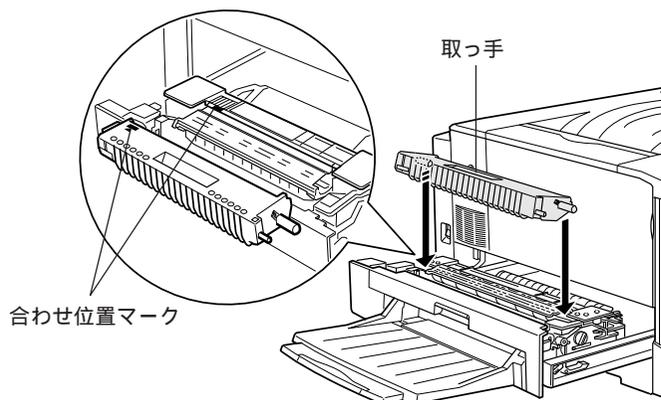


ポイント

定着オイルロールの白いロール部分には触れたり、傷付けたりしないでください。定着オイルロールの白いロール部分に塗布されているオイルに触れると、印字品質などに影響が出ます。

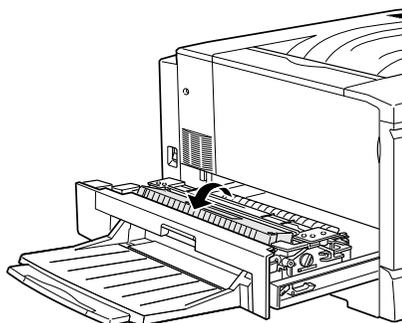
4

定着オイルロールの取っ手を持ち、緑色の「合わせ位置」マークを合わせて差し込みます。



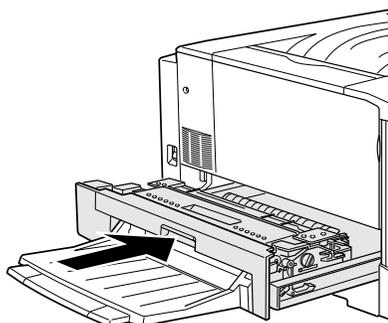
5

定着オイルロールを図の矢印の方向に回転させるように「カチッ」と音がするまで押し込みます。



6

定着ユニットを、プリンタ本体に押し込んで閉じます。



増設メモリの取り付け

カラーコピーシステムでLP-8200Cをお使いになる場合、プリンタ搭載メモリ容量は160MByte(標準搭載メモリ32MByte+増設メモリ128MByte)以上が必須条件となります(推奨256MByte)。

標準搭載メモリ(32MByte)だけでは使用できません。本製品に同梱の増設メモリ(128MByte)や、市販の増設メモリを、以下の手順に従って取り付けてください。



ポイント

プリンタに装着できる増設メモリの仕様は、以下の通りです。

- DRAMタイプ : SDRAM(シンクロナスDRAM)
- 容量 : 32, 64, 128MByte
- 形状 : 168ピンDIMM

メモリは最大256MByte(128MByte×2枚)まで増設できます。使用できるSDRAMについては、インフォメーションセンターまでお問い合わせください。インフォメーションセンターについては取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

B4、A3およびA3W(ノビ)サイズのカラーかつ高精細(600DPI)でのコピー処理を行う場合、扱う画像によっては256MByteメモリを搭載していないと、印刷できないことがあります。

このような場合には、メモリを増設するか、原稿タイプを高精細以外(300DPI)に設定し直す必要があります。

A3およびA3W(ノビ)サイズのカラーかつ高精細(600DPI)でのコピー処理を行う場合、扱う画像によっては256MByteのメモリを搭載していても、印刷できないことがありますのであらかじめご了承ください。

取り付け

⚠ 注意

カバーの内側や内部のバネなどで、手などを傷付けないように注意しながら作業を行ってください。

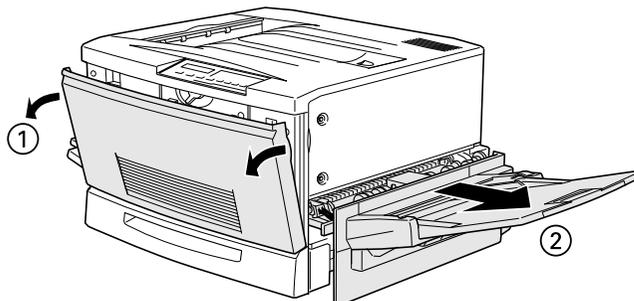


注意

装着作業の前に、接地されている金属に手を触れるなどして身体に帯電している静電気を放電してください。身体に静電気が帯電している状態で増設メモリにさわると、静電気放電によって部品を損傷するおそれがあります。

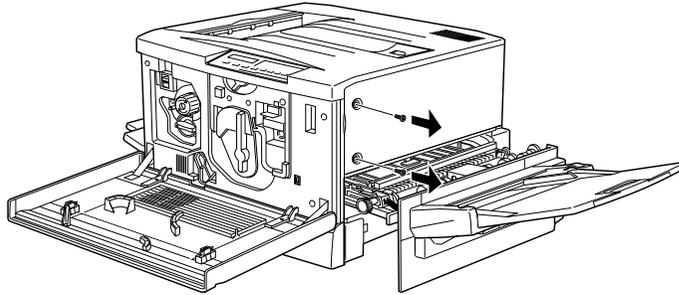
1

前カバーを開け、紙送りユニットを10cm以上引き出します。



2

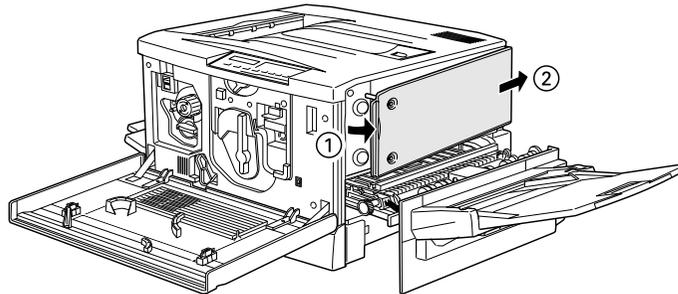
右上カバーのネジ（2本）を外します。



3

次の手順で右上カバーを外します。

右上カバーの、プリンタ後方側を支点にしてプリンタ正面側を図のように20～30°回転させるように開きます。
 右上カバーをプリンタ後方にずらして取り外します。



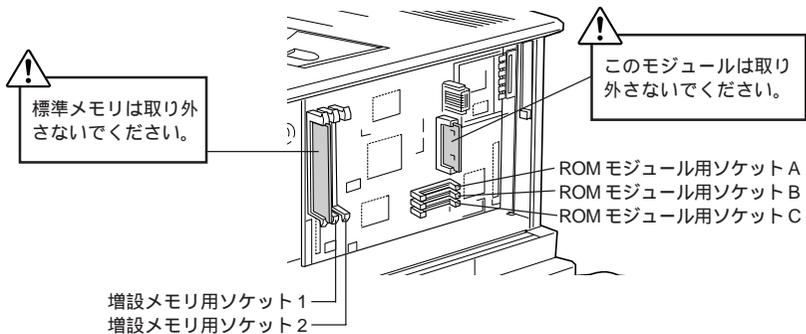
4

増設メモリ用ソケットの位置を確認します。



注意

プリンタ内部に初めから装着されているメモリやROMモジュールは絶対に取り外さないでください。取り外すと、プリンタが動作しなくなります。



5



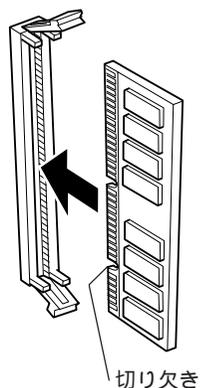
注意

次の手順で増設メモリを装着します。

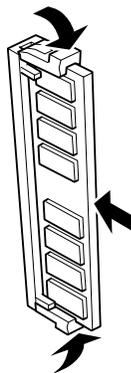
- 増設メモリを装着する際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 増設メモリは、逆差ししないように注意してください。

ソケット1または2のどちらから装着してもかまいません。また1枚のみの装着でもかまいません。

増設メモリをまっすぐにソケットに差し込みます。



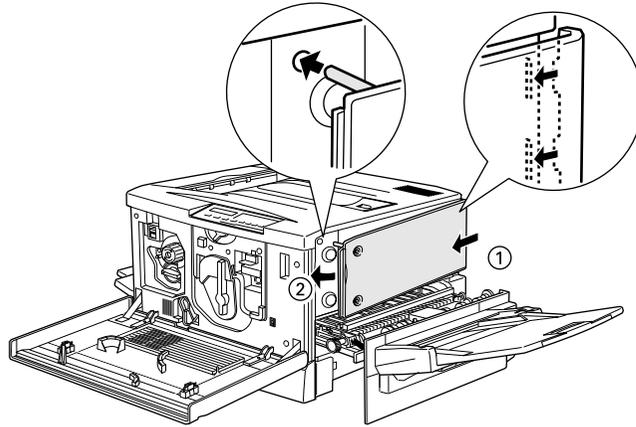
増設メモリが正しく差し込まれると、ソケット左右のツメが増設メモリの左右の切り欠きにかみ合い、固定されます。



6

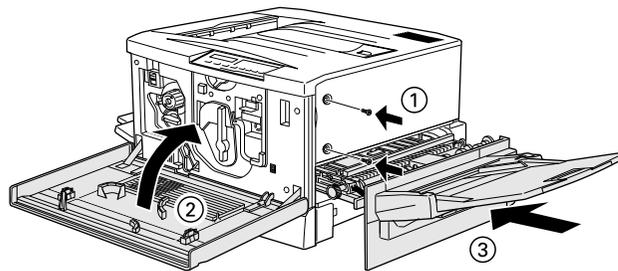
次の手順で右上カバーを取り付けます。

右上カバーのプリンタ後方側のフックをプリンタ本体の溝に引っかけます。右上カバー内側の突起とプリンタ本体の穴の位置を合わせて、カバーを閉じます。



7

右上カバーをネジ（2本）で固定してから、前カバーと紙送りユニットを閉じます。



電源の接続

電源に関する注意

警告

電源ケーブルは本製品に添付されている専用のケーブルを接続してください。
発熱などによる火災や感電、発煙のおそれがあります。

電源プラグは、定格電圧 100V で、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続はしないでください。
発熱による火災や感電のおそれがあります（本機の定格電流は100V/11Aです）。

電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。
そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱や火災の原因となることがあります。

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。
感電のおそれがあります。

注意

本機の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。
電源プラグが変形し、発火の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷付いて、火災や感電の原因となることがあります。

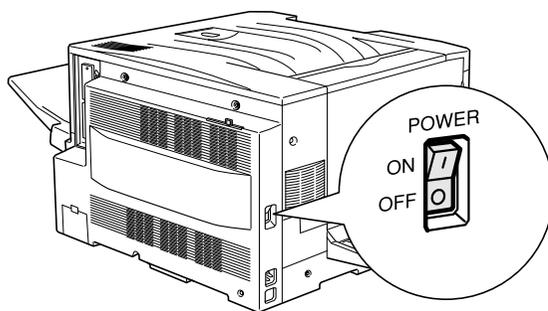
インターフェースケーブルやオプション製品を接続するときや消耗品を交換するときは、必ず本機の電源スイッチをオフにしてください。
感電の原因となることがあります。

接続

専用キャビネット(型番:CSCBN4/5)に設置する場合は、プリンタに添付されている電源ケーブルは使用しません。専用キャビネットのプリンタ用ケーブルをプリンタに接続します。詳細はキャビネットに付属の取扱説明書を参照してください。

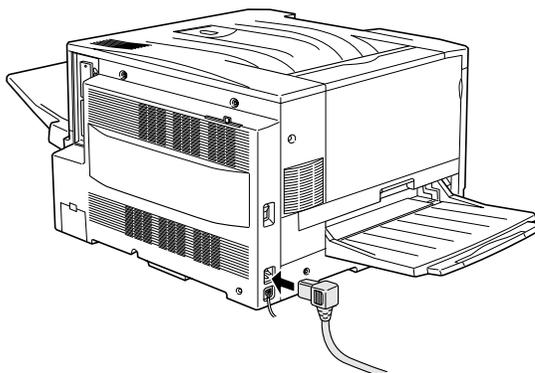
1

プリンタの電源スイッチがオフ()になっていることを確認します。



2

プリンタ左側の AC インレットに電源ケーブルを差し込みます。

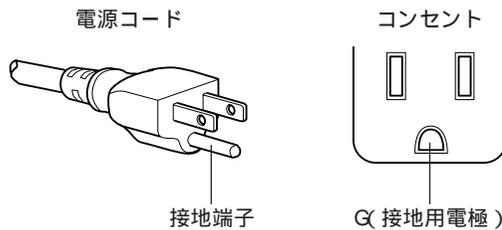


3

コンセントの電源が AC100Vであることを確認し、電源ケーブルのプラグをコンセントに差し込みます。

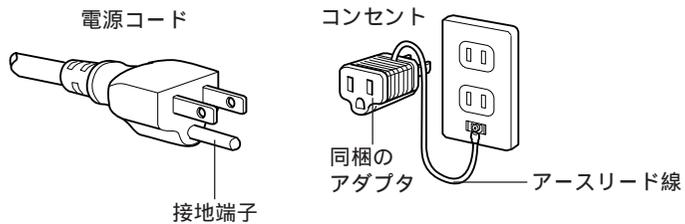
ご利用のコンセントにより、差し込み方法が異なりますので下記よりお選びください。

- 接地型 2 極コンセントが準備されている場合



電源ケーブルのプラグを、コンセントに差し込みます。

- 接地型 2 極コンセントが準備されていない場合



プリンタに同梱のアダプタ (3 芯 2 芯変換コネクタ) を使用して接続します。



注意

- 必ずアース線を接続してから、電源プラグを差し込んでください。また、取り外す場合は、電源プラグを外してから、アース線を取り外してください。
- 万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、アース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。
 - ・電源コンセントのアース端子
 - ・銅片などを 650mm 以上地中に埋めた物
 - ・接地工事 (第 3 種) を行っている接地端子
 ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 次のような場所には、絶対にアース線を接続しないでください。
 - ・ガス管 (引火や爆発の危険があります。)
 - ・電話線用アース線および避雷針 (落雷時に大量の電流が流れる可能性があるため危険です。)
 - ・水道管や蛇口 (配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)
 - ・本機は最大 1100W の電力を必要とします。本機と他の機器を同一のコンセントで使用した場合、一時的な電圧降下により誤動作が生じるおそれがあります。このような場合は、本機のための専用配線としてください。

以上でプリンタの設置は終了です。

CS-6000N の設置

ここでは、CS-6000N の設置について説明しています。

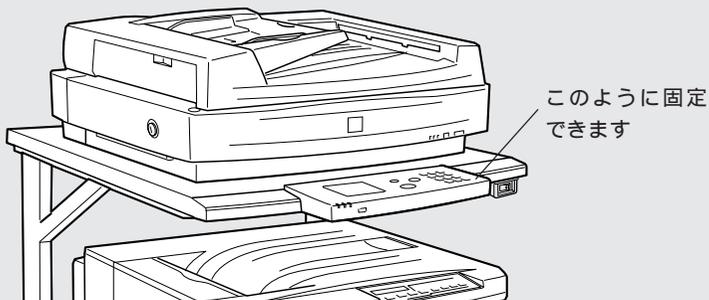
操作パネルの接続	P.36
電源の接続	P.37
スキャナとの接続	P.38
プリンタとの接続	P.41
ネットワークケーブルの接続	P.43

操作パネルの接続



ポイント

オプションの専用キャビネットをお使いの場合は、操作パネルおよび操作パネル用のケーブルを専用キャビネットに固定することができます。
<例> CSCBN3の場合

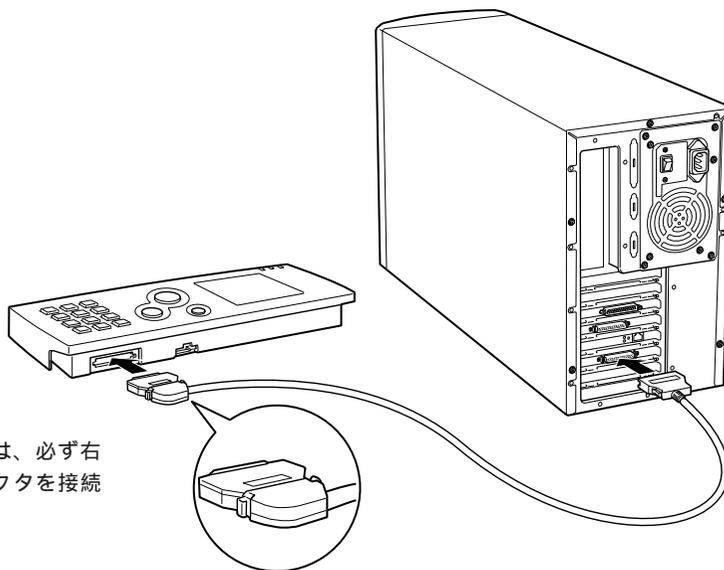


固定方法については、専用キャビネットに付属の取扱説明書を参照してください。

1

操作パネルとCS-6000Nを、付属のケーブルで接続します。

ケーブルは、カチッと音がするまで差し込んでください。



操作パネル側には、必ず右図の形状のコネクタを接続してください。

オプションの専用キャビネットを使用しない場合は、本機に付属のゴム足を操作パネルの底面に取り付けてお使いください。ゴム足を取り付けると、操作パネルが安定します。



注意

CS-6000Nの電源をオンにしている間は、絶対に操作パネルの接続ケーブルを抜き差ししないでください。機器自体が故障するおそれがあります。

電源の接続



ポイント

オプションの専用キャビネットをお使いの場合は、CS-6000Nの電源コードは、専用キャビネットに備え付けられているコンセントに接続してください。詳しくは、専用キャビネットに付属の取扱説明書を参照してください。

1

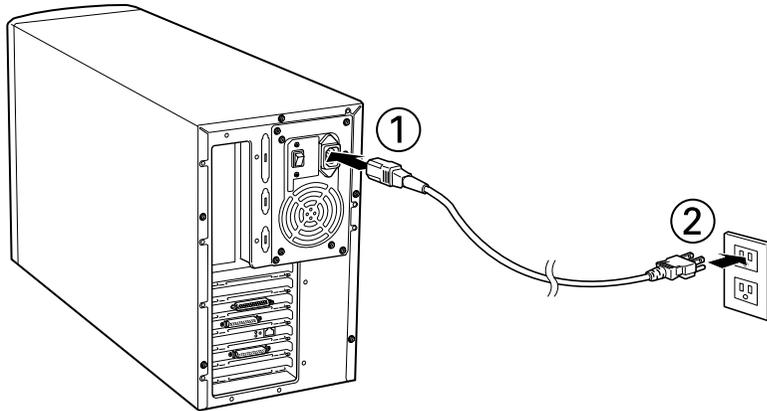
背面の電源スイッチがオフ（ ）になっていることを確認します。

スイッチがオンになっている場合は、オフにしてください。

2

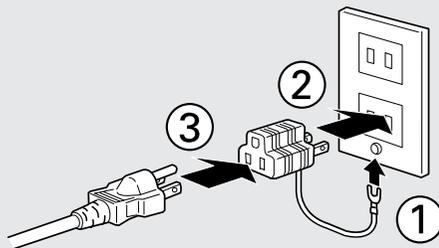
コンセントの電圧が AC100Vであることを確認し、電源コードを接続します。

電源コードのコネクタ側を CS-6000N の背面に差し込みます。
プラグをコンセントに差し込みます。



ポイント

コンセントに3芯のプラグを差し込めない場合は、付属の3芯2芯変換コネクタを使用してください。



スキャナとの接続

使用できるケーブル

スキャナと CS-6000N との接続には、SCSI ケーブルを使用します。
推奨 SCSI ケーブル：本製品に同梱の SCSI ケーブル
(50ピン高密度ピンタイプ × 50ピン高密度ピンタイプ)

ES-6000/ES-6000H は、上記のケーブルを直接 SCSI コネクタに接続します。
ES-8000 は、SCSI コネクタの形状が上記のケーブルと異なるため、変換用のコネクタ等が必要になります。

推奨変換コネクタ：Logitech 社製 LCN-C50A50



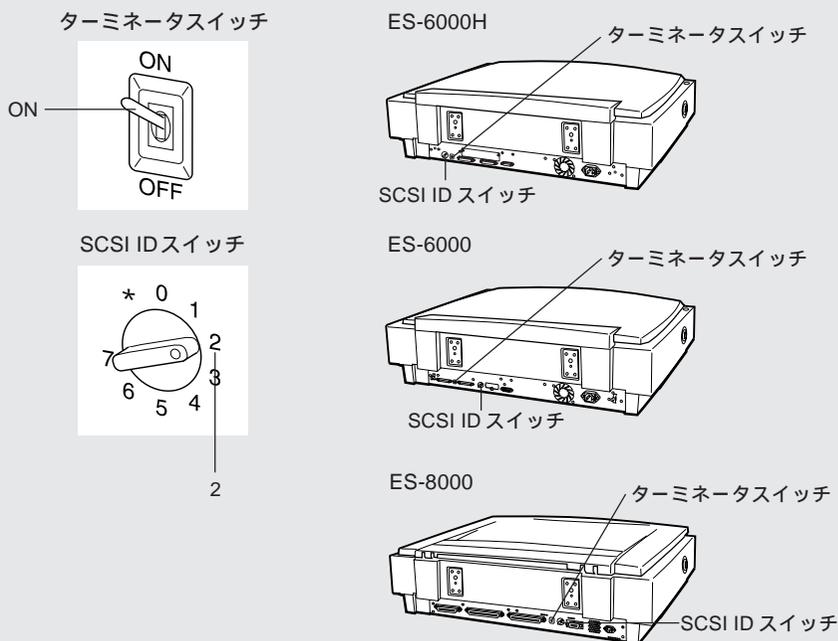
ポイント

接続上のご注意

オプションの専用キャビネット (CSCBN3/4/5) を使用する場合、ケーブル長は最低でも 1m 以上必要です。

スキャナの背面には、SCSI ID スイッチとターミネータスイッチが設けられています (スイッチの配置は、スキャナによって異なります)。これらのスイッチは、出荷時設定 (SCSI ID = 2、ターミネータ = ON) のままでお使いください。

設定を変更すると正常に動作しないことがあります。



スキャナ以外の SCSI 機器は接続しないでください。他の SCSI 機器を接続すると正常に動作しません。

スキャナをパソコンに接続して使用する場合、必ず CS-6000N との接続ケーブルを取り外してください。CS-6000N を接続したままでは正常に動作しません。

接続の仕方

1

CS-6000Nとスキャナの電源がオフになっていることを確認します。
電源がオンになっている場合は、オフにしてください。

2

SCSIケーブルの一方のコネクタをスキャナに接続します。

ES-8000の場合、SCSIコネクタの形状がケーブル側のコネクタと異なるため、
変換用コネクタ（推奨品について、前ページ参照）を介して接続します。

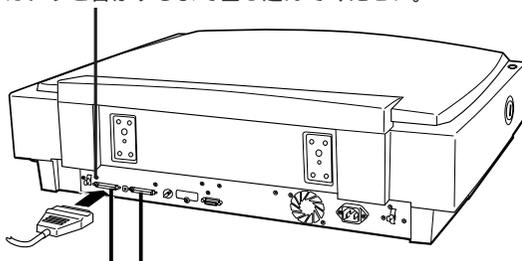


ポイント

CS-6000Nを接続しない側のコネクタには、他のSCSI機器を接続しないでください。他のSCSI機器を接続すると正常に動作しません。

ES-6000

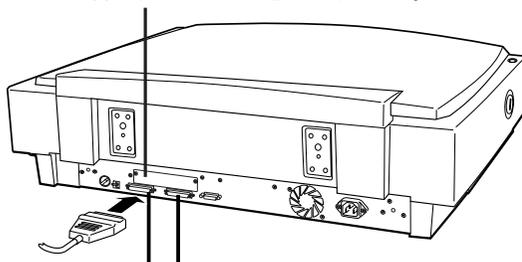
カチッと音がするまで差し込んでください。



スキャナにはSCSIコネクタが2つあります。
どちらのコネクタに接続してもかまいません。

ES-6000H

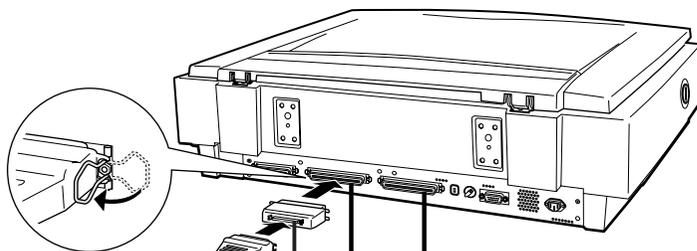
カチッと音がするまで差し込んでください。



スキャナにはSCSIコネクタが2つあります。
どちらのコネクタに接続してもかまいません。

ES-8000

SCSI コネクタに、変換用コネクタを接続し、変換用コネクタに SCSI ケーブルを接続します。スキャナのコネクタと、変換用コネクタ両脇のクリップで固定します。



変換用コネクタ
(推奨品: Logitec 社製 LCN-C50A50) どちらのコネクタに接続してもかまいません。

スキャナには SCSI コネクタが 2 つあります。

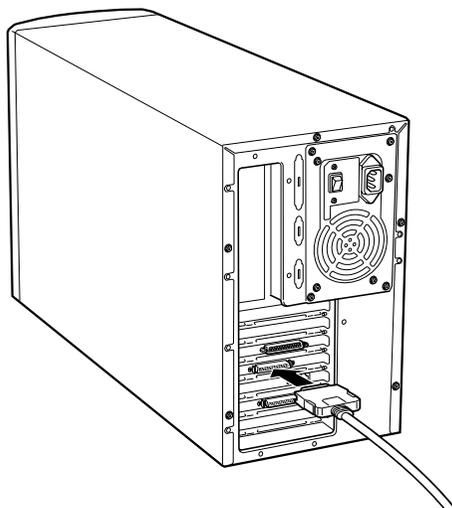


ポイント

CS-6000N を接続しない側のコネクタには、他の SCSI 機器を接続しないでください。他の SCSI 機器を接続すると正常に動作しません。

3

SCSI ケーブルのもう一方のコネクタを CS-6000N の背面に接続します。カチッと音がするまで差し込んでください。



プリンタとの接続

使用できるケーブル

推奨ケーブル：本製品に同梱のプリンタケーブル
または
EPSON 製 PRCB4N
(ECP モード対応 DOS/V 用プリンタケーブル)



ポイント

接続上のご注意

推奨ケーブルを使用しない場合、ECP モード^{*1}に対応したケーブルをお使いください。
ケーブルがECPモードに対応していないと、CS-6000Nとプリンタが通信できず、コピーができません。

プリンタをパソコンに接続して使用する場合は、ユーザーズガイド(xiii ページ)の注意を参照してください。

接続の仕方

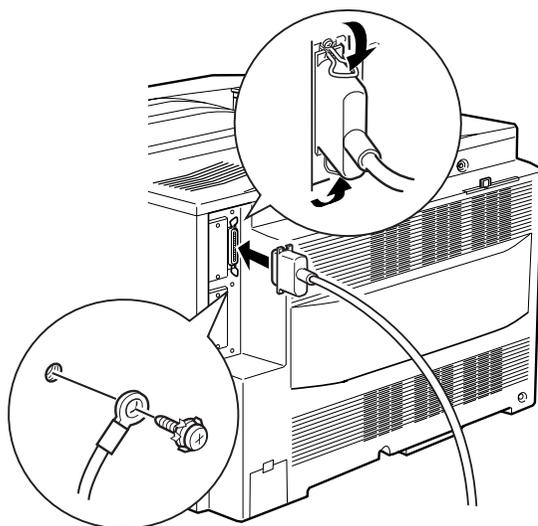
1

CS-6000Nとプリンタの電源がオフ()になっていることを確認します。
電源がオンになっている場合は、オフにしてください。

2

インターフェースケーブルをプリンタに接続し、コネクタ両脇のクリップで固定します。

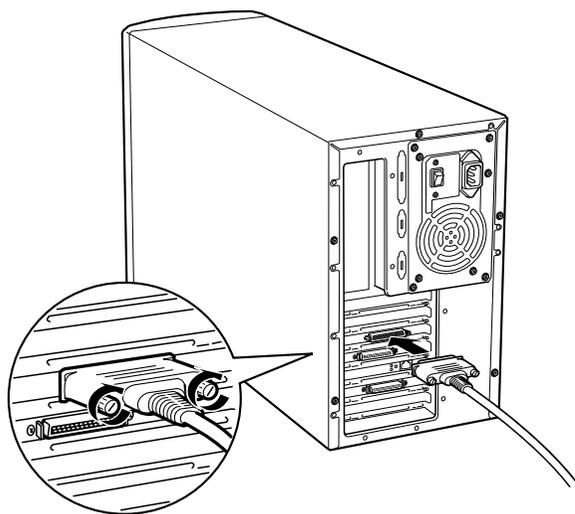
インターフェースケーブルにFG線がついている場合は、FG端子に固定します。



*1 ECP モード Extended Capabilities Port モードの略。非同期、バイト幅のデータを双方向で通信できる機能を提供するモードのこと。

3

ケーブルのもう一方を CS-6000N の背面に接続し、コネクタ両脇のネジで固定します。



ネットワークケーブルの接続

CS-6000N をネットワーク環境で使用しない場合は、この手順は不要です。

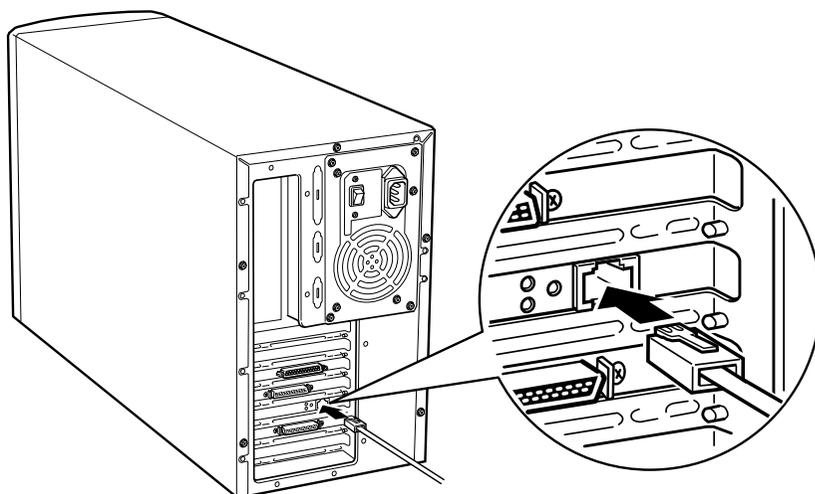
対応規格

10Base-T または 100Base-TX (100Base-TX を推奨)

UTP のカテゴリ 5、ツイストペアケーブル (ストレート) を使用してください。
ネットワーク環境で CS-6000N が使用できる機能や、それらの機能を使用するための環境条件、ネットワーク環境で CS-6000N を使用するために必要な設定については、同梱の「ネットワーク構築ガイド」を参照してください。

ケーブルの接続

CS-6000N 背面のモジュラージャックに、ネットワークケーブルを接続します。



これでコピーシステムのセットアップは終了です。

コピーシステムの使用方法については、ユーザズガイドを参照してください。

